

女性の低体重/低栄養症候群 とは何か？

特集にあたって

日本の若年女性において、「痩せ」や「細さ」が美の基準とされる傾向が根強く残っている。その一方で、低体重や低栄養に起因する健康問題が顕在化し、将来の骨粗鬆症、サルコペニア、月経異常、不妊など、多岐にわたる影響が指摘されている。これらは単なる個人の問題に留まらず、次世代の健康リスクにもつながる社会的課題である。本特集では、2025年4月に発表された「女性の低体重/低栄養症候群 (female underweight/ undernutrition syndrome: FUS)」の概念を軸に、糖脂質代謝、骨密度、筋肉量、産婦人科・小児科的視点、さらにはボディイメージの問題など、多様な観点から現状と課題を整理する。学際的な知見の集積を通じて、この問題への理解を深めることが期待される。

順天堂大学大学院 医学研究科 スポーツ医学・スポーツロジック/代謝内分泌内科学
田村好史